

保育座談會

— 粘 土 —

時 日 十月二十二日午後三時半から

場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

出席者 倉橋教授、堀主事、及川、新庄、菊池、神原、
徳久、白根の各保母

神原 製作についてお話し願ひます。

堀 材料からいつて製作の種類は？ 粘土、紙、

さびがら、木、その他に？

及川 さびがらも製作に入れますか、「剪り紙」と同

じょうな意味だと思ひます。

堀 「さり紙」だつて勿論製作ですよ。

新庄 まぎつて居る所もあるのね

堀 デザインをしてすれば繪も入るから。

そこで問題を擴げないで限定してかゝらう。

及川 粘土製作にしたらどうです。

倉橋 さう。林料をさめた方が實際論になる。先日
の關西聯合保育會で「幼兒に適應せる最新の製
作物につき承りたし」といふ談話題が出たので
各保育會がら發表がありましたよ。

堀 粘土製作を話題にしたら何うです。

倉橋 それがいい。實際を話しましよう。

堀 粘土製作の回数はいくら？

及川 一週に一度位してあります。こゝでは粘土を
割合に不經濟に使つてありますから冬などは寒
くて冷めたいからといふ理由の外に學年末など
經濟的にも粘土製作が出来なくなる事が多いの

です。今年は少し考へて同じ粘土をながくいく度も使ひたいと思つてあります。

幼児がつくつてから直ぐにこわすといふ事は出来ませんが適當の時にために返せばこれを少しねれば又つかへるのですからとつておく作品の外のものはお部屋にいつまでもから／＼になるまでおかない様にしたかと思ひます。經濟的に氣をつけて使へば自然粘土も材料豊富に使へる事になります。

堀 其處で、粘土の製作價值と經濟問題になる。

果して製作したものを子供の居ない所で毀して次の種にしていゝものか。

及川 個人的に考へたら残しておけばよろしいのですが古くなつたものをごみ箱に入れてはごみ屋でも困ります。粘土製作をする度毎にいくらか減るのを補ふといふ程度にするためには手まめに粘土をとりあつかはねばなりません。

堀 本當は子供の粘土は長く保存して、ひびがいつて屑扱ひする必要があるか否か。

倉橋 子供の方では何う？ 作つたものを何うしますか。

及川 無論暫くは見て居りますが、こちらで氣の毒と思ふ程ではなささうです。子供に聞いてはみないのですけれど、いた／＼しく思ひながら毀して居ります。長くおいとけばきたならしくありません。焼いてゐないから。完全に保存出来ればよろしいのですが。

堀 それで外の幼稚園で流行らないのだね

倉橋 經濟上の理由でね

及川 一貫目四十錢で一ヶ月に二十貫目ぐらゐ費ひます。一組で一回に八十錢は費ひませう。此の頃の様は暫くと絶えてた後では粘土を買入れたとなるとドコの組でもはじめるので一ペンになくなります。

堀 作ったものが毀れ、ひびけるまでになつては

良い氣持がしないだらう。

及川 自分のこしらへたものがこわれて泣く子もありません。加減もむづかしうございませうが、選つて残して置くことにして、全體としては残さぬを本態としたら如何でせう。

新庄 中には残しておかないでもいゝのもあります倉橋 何れくらゐは残しておいてもいゝのですか。
及川 その日のうちにかめに返せばよろしいのです新庄 何の子のともいふわけにはいきませぬ。保母が考へてみんなが見て置いた方がいゝと思ふのは残してその他は經濟的の理由からくづして使ふようにしてゐます。

及川 手があると小使が毀して水を入れて、ついで又使へるように致します。一人だからいひつけるのもかわいさうでして。

新庄 頼めば出来る時間はあるようですね。

○

倉橋 こゝらで問題を少しずらせて、粘土製作で子供や先生から見ても残しておくといふ程積極的意味がないのもありませうね。

及川 残しておこうと思ふのは大抵同じ子供です。

新庄 きまつてゐます。

倉橋 斯うしたら何うでしょう。先生から見ても價値あれば残す、標準は論じないで。子供の方で實際明日の何々の遊びに使ひたい、他の仕事に結びつけるのならこれも残すと。その他は製作したゞけ、形が作られたゞけ、そこでいゝことにして、つづす。

及川 習作の時はね

新庄 ラクにつぶせますね

堀 僕は百姓の子供で田圃の泥をこねてぶつけつことをするし、團子をかきたものだ、目的があつて鐵砲玉を作つた時にはそれが硬くなること

を希望したが單に形をこさへた時はその後は何うでもよかつた。

及川 心苦しく思つてつぶしますがね。

倉橋 心苦しいのは教育者の細やかなる御心持です。ね。事實心苦しい事がありますか。

及川 先生、僕のを何うしたのつて聞く子がありません。

堀 そりや子供は思ひ出す。

及川 まあ、つぶしていゝといふことになればラクです。

倉橋 幼稚園の粘土製作は幾度も作りかへるとい事に、

堀 子供の水あそび、砂あそび、田圃の泥いぢりは同じようなもの、都會では田圃泥ぢや汚たないから粘土

倉橋 あそび、泥いたづらの材料を吟味した場合。中には子供によつても少し製作品として樂しみ

たいのもあらう。それには少し尙んでやる。出席簿は三年間保存、子供の粘土製作はすぐつぶすぢやね。

堀 ある場合、あそびの材料としての價值しかなう。

倉橋 過程に價值があるもの、泥の場合はそんな氣樂なものがある。

堀 こゝらではあそびより製作を主にしてゐるから。團子とか犬とかだの。

倉橋 事實ランダンに使へるのなら取り置いてやつていゝ。實際價値の過程が豊かにしてやられるから。

堀 それよりも後の始末がつかぬからぢやないか新庄 それはそれとしても實際いゝものは残しあきたいと思ひますね。

堀 そんなのは焼いて永久保存しようと思ふ。是非あきたいといふ場合があらう。

新庄 そのまゝ毀れぬなら残しときたい場合が多う
ございます。相當これを重く見たいのですが都
合上又かめにもどすといふ有様です。

倉橋 子供から考へればそうでもないことがある。

塑像家が目當なしにやつてゐる事がある。

倉橋 作つちや放ぼかすが、子供を、置いとく或は
觀る傾向に導く事も必要です。

新庄 粘土の長所は砂のようではなくて、後迄残つ
てゐることです。

堀 仕上げて美術品となる。

新庄 子供の製作として粘土が一番よろしいよう
ですね。手の跡があり／＼とついてゐるところな
ど。他の材料には見られないいゝ製作が出来ま
す。

堀 仕上げるのは程度が高いが、仕上げはさせ
ます。以前に粘土窯がありましたね。

倉橋 焼く場合は器具的なもので、犬や象等は焼く

と味が出ない。

及川 一番作りたてがよろしいのね。

堀 エナメルを塗つてたぢやないの？

及川 塗る場合もあるといふ程度です。

堀 裝飾も出来るといふぐらゐでエナメルは餘り
成功しないだらう。

新庄 あれを塗つては折角の粘土の味がなくなりま
す。

及川 塗ることはそんなにむづかしくはありません
がね。

○

倉橋 又問題をかへてね。作つてゐる最中、少量し
か與へられないなら團子を作つて又直して作り
かへぬと遊べないが、

及川 足りないからもつと頂戴つて申します。

倉橋 作つてゐる中は團子が出来たら暫く置いといて
餘分にもらつて作るか。昔の、白い紙に習字

するか書いた上に書く黒い紙に習字するかの問題ですね。多くの幼稚園ではあゝこねて斯うこねて便利だといふので粘土製作をしてゐる。

及川 此處では足りない時には足して居ります。

倉橋 それにし度い。出来ることなら作ったものはそれで置いておく、二分間でも五分間でも。

新庄 大概さうしてゐますね。

倉橋 少し許り粘土をやつておくと變轉自在

堀 一本の紐で一時間も遊ばせるのと一しよだ。

及川 此處の幼児では長く遊ばない。製作の路をこわしてゐる時子供が入つて來ないようにと思ひますよ。

徳久 これは毀さないでねと斷る子供もあります。

倉橋 その日中おけません。

新庄 その日くらゐはいゝのでせう。お歸り後に始末すれば。

倉橋 永久に飾る必要はないが、僕のは何うしたと

云はれるとつらいな。昨日のを何うしたと云はれるなら、チュエー／＼が持つてつたでもいゝでせうが。

堀 乾上びたのでも水を加へて甕に長くいれておけばよい。これの一つ大いに研究するか。

新庄 あとに使えるようにね。

堀 出來ますよ。捨てるからいけない。

倉橋 も一度粉にするのかね。

堀 粉にしてもいゝ。水を加へればいゝんだ。かたつむりをね。三ヶ月紙袋に入れておいたのを、死んでゐるかしらと思つて踏みつぶしてみた。一つは死、一は生きてゐた。も一つは水中に入れたいたが大變收縮してゐたのがたつた四十分で段々水を吸ひ込んで元に返つて何處かへ行つてしまつた。粘土だつて水を吸ふと元に返る。打つちやるからいけない。ためてさへ置けば幾らでも使える。今迄はその時直ぐ使うとするか

らいけなかつた。

倉橋 粘土の還元を大いに研究するのですね。

堀 そのためには罌を二つ置く。

倉橋 今迄は使ひ方がぞんざいでせう。

及川 此處の事ですか。

倉橋 よ、そ

及川 ちゃんとしていらつしやいますよ。

倉橋 此處は金持だからぞんざいかね。

保姆一同 あら、いゝえ。

堀 會計ぢや粘土を食ふかつていふ。

○

倉橋 粘土は硬くなるからといふので硬化せぬ油土

がいゝといふ人があるが如何でしょう。

及川 あれはくさくていけません。

倉橋 これに付き研究してゐないが西洋の方ではよ

く廣告に出てゐますね。大阪の方で發明したの

は一般に使つてゐますか。

及川 家庭では使つて居ります。

新庄 色がついてゝいやですね。

倉橋 人工材料では現在よいのがないといふ事にな

りますか。

及川 硬くならないためには油、油ではくさいので

す。サク／＼とした粗いような感じを出す此處

で使つてゐるのは贅澤粘土です。

倉橋 タツチングでゆくといふ具合にね。

新庄 關西で使つてゐるのはクリーム色で東京のは

汚ない色と仰るのを聞きますが、此方ではあの

色が見なれてゐるせいか、それにざら／＼して

居る所など好きです。

堀 腐蝕土が入ると入らぬのとで色が違ふ。

倉橋 今使つてゐるのは少しも加工してないの。

堀 砂が入つてゐる。一旦粉にして水を加へてど

ろ／＼にしそれをこして砂を除きそれを沈澱さ

せて粘土をとりこねるのです。

及川 いゝ粘土は

堀 粘土や陶土を粉にして砂利をとつて上水をとつてこねたもの。陶磁器にしてもの材料によつて色が違ふ。相馬、伊部、清水、粟田焼と各々變つて来る。材料が違ひ鐵分等混じてゐるために。

倉地 粘土製作は寫生式が多いでせうか。

及川 果物くらゐで、寫生は餘りありません。

新庄 私の方は夫れも餘り致しません。

倉橋 彫刻家はモデルを使ふ。

及川 動物などはモデルをい下したいのですけれど適當なモデルがありません。

堀 粘土製作にはモデルがいるのぢやない？

及川 澤山見てやつてゐるうちに、自分の創作が出来る。

堀 パーツとした觀念でやつても、實際見てやつても、變りない。

倉橋 原始藝術ならモデルはない。

及川 伏見人形などにはモデルはありません。

堀 さうだらうか。土器などは目の前において

倉橋 モデルを見て作り、次にモデル無しで自由創作して味や面白味が出る。粘土製作にも多少モデルを入れるがいゝと思ふ。

及川 果物等の時は空でするのはいやです。

倉橋 たまにはモデルなしでやるのもいゝ。

堀 子供のいらぬものが前にあると邪魔になつて

寧ろ置かない方がいゝ事がある。

新庄 觀て爲るのは大抵果物位です。

及川 帝展などに出てゐる彫塑とは違つて。

堀 そりや團子の丸いのは丸いを見せなくてよい。皿だつて。

及川 こさへる物によります。胡瓜と茄子、林檎に

バナ、等は前に置かれた時に良く出來ます。

堀 それは觀念の相違は實物を見なくちや

及川二通りになるのではありませんか。

新庄 果物位なら見て作らせる事もありますが、幼稚園では主として見ないでよいのではないですか。眼の前にあるものを見て作るのは小學校に行つてからの様に思ひます幼稚園の時代にはモデルを見てするよりも、自分のもつてゐる觀念を外にあらはした時の製作の方が、ずつとずつといつてもいゝものが出來ますの、その觀念だつていつかは何かを見たものが頭にのこつて居るのでせうけれど、作ろうとする時に、その觀念があらはれて出てくればいゝものが出來ると思ひますけれど。

堀 畫家でも汽車を描くとすると、切り込んで描き現はすとすると實物を見なければ。

(用意の夕食が出る。食べながらだと甘い考へも出ようといふので以下食事をとりながら)

倉橋 今の話は？

新庄 モデルを見るか見ないかですよ。

堀 見せる必要があると思ふ。觀念は朦ろで現はせぬから觀念だけで表現がよく出來たといふ事ならむづかしいモデルに比べて似よつてゐる、ぬないことになる。

倉橋 美術學校のデッサンの様に六かしくしちやいかぬが。

○

倉橋 粘土製作では昔は小さいものを與へたからち團子作りで、例の繊細をさけて大きな物を要求しますが、實際問題として自分にも分らないが何れ位に迄出來ますか。

新庄 安定した形にさへすればかなりの大きさの物が出來ます。動物は脚が立ちません。立つものを作るのは出來ません。工夫しては見ますが、ヒゴを入れたりなどして。

倉橋 立つてゐるものとして、大きなものを作るの

を愉快とするでせうか。

神原 大きな飛行船を作ります。

及川 山の組では大きな飛行船を描きますね。

堀 大きく描かぬとツエッペリンにならぬから。

けれ共大きなのは粘土の素質に合はない。

新庄 あんまり大きなものは出来ません。

堀 その點で、此處でもちぎつた塊りをわたすが
合作に。

及川 中心があつてですか。

堀 子供みんなの合作。

及川 誰が作つたんだか分らなくなる。

堀 粘土を分けなくて大きいものを出すと、やり

度い者だけがやり、他は他の仕事をさせる。

及川 準ぐりに何時かは大きいものを貰へるように

したらよろしいですよ。

新庄 今までは子供の作る物によつてもつとほしが
る時に與へて居ります。

堀 と云つてもあのかたまりをせい／＼二つか三
つ。

及川 けれども力よりも多過ぎるとすぐ投げ合ひに
なります。

堀 子供の時の泥合戦だ。

新庄 こさへようと思ふ物が立たないからの場合も
あるわね。

堀 そんな時、先生が台になるものを指導しなく
つちや。

倉橋 昔は實に少しの材料を與へた。

及川 そして製作始まりも終りも一齊で。

新庄 餘けいに貰へなかつたの。

堀 どころぢなく號令かけてやつたのだらう。

新庄 同じ形の物を作るの

倉橋 お團子十皿だ。

堀 田舎へ行けば今だつてありますぜ。お團子だ
といつて青桐の實くらゐのものを葉にのせてあ

る。高い粘土を少し許り買はないで何故こゝにある泥を使はぬかつて私は云ふ。

○

倉橋 粘土製作を非常にしたがる子供とそれほどでもない子供とありますか。

及川 いやだといふ子供はありませんね。幼稚園の仕事の中で一等好きでせう。

堀 出来る子は勿論、出来ない子供にも何うにでもなるから。

倉橋 あゝいふ種類の活動満足は外では得られぬ。(筆記掛りにも食事をせよ、人道のためにだまつてませうといふ御厚意のためか暫く話は絶える)

堀 最近の作はありませんか。

徳久 作ったのは子供が持つて歸りましたが。

堀 どれ位で硬く乾いたのが元に返るか實驗した

5。

徳久 そんなのならありますわ。(持つて来る)

堀 粘土を持つて歸り度がありますか。

及川 あんな粘土はあまり賣つてゐないからです。

堀 コールタールを賣る所を貴女方が知らないと同じ。

倉橋 これは何日に作った自動車ですか(寫眞のもの)

菊池 運動會前ですからもう十五日になります。

堀 この車の輪のつけ方は何う指導するの？

倉橋 一人で致しました。

堀 こんな物を附けるのは手極を要する。

○

倉橋 も一つ問題をかへてね、自動車は中が空いて

ゐるから紙とか木で作つた方がよくてリングと

かバナ、は粘土にした方がいゝと考へませんか

及川 餘り考へません。皆さん考へますか。

倉橋 考へてみる問題にならぬものか。

堀 問題になる。この門など四角にしてスチつけ

るくらゐの技巧だ。

倉橋 作るのを止めるわけにもいかなぬが。

○

及川 粘土の指導法つて何うすればよろしいのでせ

う。

倉橋 段々上手になるといふ言葉は使へますか。

新庄 大變に上手になる子供と、手極はよくなる位

で發達の見えぬ子とあります。上手になる子供は

さまつて居りますね。

及川 繪の上手な子供は上手ね。

堀 粘土には上手下手がありますね。

及川 粘土の指導法には困りますわ。

堀 自動車の輪の場合のようなとき、繋ぐ所を指

導するかしないか。

及川 それもあります、それでなくて。

堀 第一に、自由製作なら指導出来ない。子供の

考へて居る所が分らぬから。

新庄 彫塑の指導と違ひますからね。

倉橋 何時だつたかの「堀進二さん」を願つて講習

した時ね、みんなが作ったものを持つて行くと

お互同志の手を見合つて作ったが、それを堀君

が一寸手を添へると作品が生きて來たね。藝術

家は弟子を指導して居るでせうな。

堀庄 藝術家が弟子を指導してゐる方はた易いと思

ひます。

倉橋 その程度ぢやないが、材料を扱つてゐるのだ

から指導した方がいゝ。

堀 いゝでせうか。

及川 自由にこさへさせる、只製作慾を満足させる

良くならなくも打つちやつておいてもいゝだら

うか。先生の作ったものを模倣させるとかモデ

ルを見せるとか多少、指導してもいゝと思ふ。

及川 それだと私はラクなやうな氣がします。

堀 何時もそれではいかんから丸くするには斯う

するとか、くつつけるには斯うするとか、此處を引つ込めればといふ指導があつて然るべきだ

及川 でもそこが自分だけで子供に分るか否か。

倉橋 繪なら其處がもつと分り易いもんだから少しは出来るんだが

堀 その意味で粘土は程度が高い。擴がりもひろい。この意味で指導法を考へることだ。

倉橋 指導すべきだが、我々には出来ないからといふ譯か。

新庄 口だけで云つてはいけないでせうか。自分のを見せるのは因りますわ。

倉橋 その時、こゝは滑つこく、といふ指導法も困る。

堀 今の所粘土は一番指導法が臆病だ。

及川 そう、殆んどしてないんですの。

倉橋 それは諸君が鑑賞眼があるからだ。

及川 けなされてゐるんだか、ほめられてゐるのか

堀 外國ではかなり感じの出たものをモデルに持つて置く。

新庄 子供のいゝ物をとつて置いては。

堀 子供と限らない、大人だつて。もつとモデルを置こうかね。

皆 そうすると又そのモデルに困るんですもの。感じなんて云ふ事を子供に要求するのは無理

だ。一足とびに彫刻を見てるからそんな事を要求するのも知れん。

倉橋 林檎か柿か分らぬやうな時吾々は直す、こんな意味 添削はしていい。

堀 子供らしい、らしくないで指導出来るぢやないか。感じが出た出ないのはもつと後でいゝと思ふ。

倉橋 子供が作った形の悪い物が意外にも走つてる

時がある。

一同 ほんとにね(こまる)

及川 大人がすると滑らかできれいになるから出来
新庄

上つたものを見るといやになつちまふ。

堀 消しごむを使ふのも大人が教へる。指導の仕

方が問題だか或場合は指導せねばならん。

新庄 いつも出来ないけれども林檎ならしますわ。

倉橋 いつも謹んでする。さつきの新庄さんの云つ

たように、言葉で注意を促すのはどうでせう。

新庄 成るべくそれもしませんの。外のきり紙か何

かだとしますけれど何だか粘土はしにくくて。

及川 ぢや、大膽に指導をしますか。

倉橋 やつていゝでせう。

堀 或る點では教育はつまり天才を凡才にしてる

んだから、外の場合ではやつて粘土の時に限つ

て手を引いてるなんて。木工などは大方先生が

するだらうに。

新庄 それは子供の力が足りませんからですわ。

倉橋 こつちで手をつけることはこわくて仕様がな

いから恐るゝ謹しんで申上げる程度に。

新庄 その位の程度に願つて、作ることは御免です

わ。

堀 そりや出た、先生の手が汚たなくなるからね

新庄 ほらまた始つた。ほんとにいやな先生つたら

ありやしない。(思はず立ち上る。一同笑ひなが

ら茫然。)堀先生はすぐ不精で片付けておしまひ

になるからいや。

堀 めんどくさがるんだよ。だがまあよそうハ

ハ、ハ。とにかく先生も段々稽古してやらなく

つちやいけない。僕は手工で粘土細工をやつて

みたが茶碗だつてなか／＼出来ない。第一ヘラ

の使ひ方がむづかしい。

新庄 幼稚園の先生は繪も、粘土製作も音楽も、踊

りも出来なくちやならない事になりますね。

堀 上手になれといふのではな。

新庄 だけど満足出来る點にはなか／＼ですわ。

堀 粘土の時、先生の材料も持つて行つて一緒に

稽古すればいゝぢやないか。大人がやつても大人は大人で面白味がある。

新庄 やりたくて仕様がなないのですけれど。堀先生
つて私にばかり仰る。

堀 みんなに云つてるんだよ。

新庄 白根さんも仰いよ。(と、つつく)

堀 白根君は實習科の時やつてゐるだけにこの問題
はちやんと出来てゐるので澄ましてゐるのだ
ね。

倉橋 そんなことは、シラ、ネですか。

及川 一番むづかしい

新庄 それだけに出来たものはいゝのね。

倉橋 繪だつてそんなものでせうが。同じく観念的
ですからね。

新庄 顔が暑くなりましたわ。梨でもむきませうか

倉橋 あそこに氷枕がある。

及川 先生は先生で勉強しますかね。

倉橋 先生を水に入れて練り返すか。

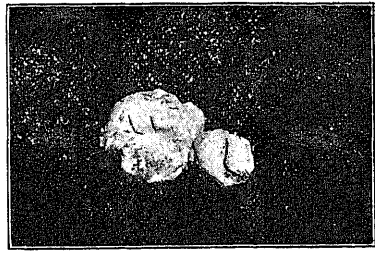
新庄 まあずの分……一番硬さうですわ。

堀 だからね、その上金はかゝるしさ、よそでは
やらなくなる。田圃の泥をこねてやるぐらゐの
もので平面的に電車を描くが立たないのに斯く
粘土では立體に表はせるその愉快は大きいもの
でせう。これからこれを使つて遊ぶのが大變で
せう。

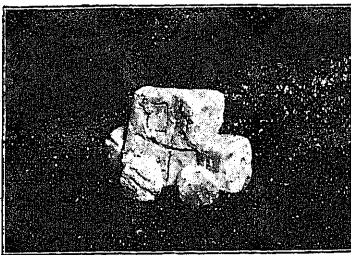
及川 これが硬くなりますとね。

堀 その意味でやかましく粘土製作を残して玩具
にします。製作實用品にまでと主張する人があ
ります。子供がこさへた物も大人が良いものと
して使えるように。こんな自動車は脱線して問
題になる。

倉橋 だけどあもしろい。



幼 兒 作 る



小 學 二 年 生 作 る

新庄 子供が作ったから

です。

倉橋 大人が作ったもの

だつたら悲しくなる

ね（一同大笑）

堀 誰が作ったの。

菊池 私の組（森）の子

供。こちらは小學校

の二年生が遊びに來

て居りました、そち

らは實習科の生徒が

作りました。

堀 大人のは屋根にカ

ブがある。その代

りに小學生のは後に

タイヤがついてゐ

る。

倉橋 面白いね。この頃は勝手に作らせておく場合

か。 團子やリンゴバナ、ばかりの子供はありませ

ん

及川 板一枚を場面としてその上に何かを作ります

倉橋 遊びにね。

徳久 この頃平面にベターツとしたのを作ります。

及川 がつかりしますわ。悪いけどいけないとい

ますの。

堀 立たせられないから、人の立つのは大變だ。

あぐらかいたのは？

及川 足を出したのはあります。

堀 足のやり場がないから。

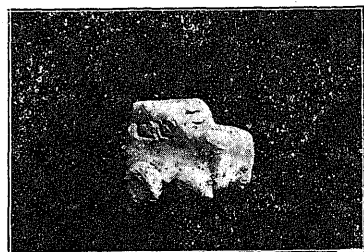
及川 困つたわね。

新庄 勉強しませうよ。

堀 やつて下さい。僕は粘土保存法の研究をする

から。

倉橋 大人が作ると全體よりも細部になる。こんな



成人作る

自動車が面白いのは
變つた面白味で原始
的なものを見る場合
のもの。

新庄 それでいゝんでせ
う。

倉橋 いゝとしなけりや

仕方がないから。昨

新庄 そら、また、堀先生のあつしやり度い所ね。

かね／＼分つて居りますよ。

堀 何も白根さんの髪の色をいつたんではありま

せんよ。

倉橋 座談會には警親廳へ電話をかけとく必要があ

るね。

新庄 白根さん。あなたの加勢してあげたのよ。

白根 ちや／＼どうもありがとう。

堀 加勢した積り？ 僕は貴女の頭を見て言つた

新庄 生れつきだから仕様がありません。

及川 生憎と又正面に座つて。(大笑)

○

徳久 始めて幼稚園に入つた子供の粘土製作にモデ

ルを見せるのでせうか。

及川 こさへたものをですか。

徳久 その外實物でも。

及川 今迄ちつともいぢつた事のない子供には粘土

日茶道の本を読んでゐた中にあつたのですが、
敷寄屋のスキを解釋してキは奇數の意味即ち偶
數のようにさちんと整つてゐない面白味、この
頃のように餘りちやんとしてゐるのはスキの本
式ではないとありましたがね、「玉子に目鼻」よ
りも「まりに目鼻」が愛嬌があるわけせう。

新庄 デコボコがいゝ事になりますか。

堀 餘り丸くても困るが又デコボコ過ぎても困る

女の髪でも

にさわらせるだけでもいいでせう。

倉橋 心理的にいへば、観念から作るよりも作つてゐるうちに観念が出来る。

堀 子供にはその方が多い。いぢくつてゐる間に斯んなになつたからくつつけようといふように新庄 その場合でもどこかに元の観念があるのでせう。

倉橋 極めて漠然とある。

新庄 こさへてゐる間に變りはしますけれど

倉橋 材料を製作して行く事とて、そのうちに形を出して行く事になるので始めから物を作るといふのはむづかしい。いぢくつてゐるうちに四角く、長く、丸くなるのを材料から發見する。

新庄 大體の観念があるのに、粘土は自由に變つて行かれるから好きなんでせうね。

倉橋 その變つてゆく所にね。座談會の如きものだ堀 砂だと保たずに崩れる。木材では努力がいり

すぎて思ひ通りにならず、粘土はその間にあるから都合がよい。

倉橋 観念の發達矯正には力がある。紙でも材料に支配されて観念がとめられるし、繪だつて案外に観念が思ふまゝにも出ない。粘土ならこの自動車のように出来た所で満足してゐられる。

新庄 繪は描け過ぎるからでせう。

倉橋 観念が不備なものと、観念はあつてこの程度で満足してゐるのとある。

及川 この自動車はどつちが先に出来たのですか。

菊池 子供が先に作りました。

堀 輪はどうついてゐるの？

倉橋 リンゴや人の形を作るのと違つて部分品をつけなくつちやならぬ。それを着けるうちに形が變るのでせう。輪をつけない初めはチャンとしてゐるから出来てゐると思つてゐるかも知れぬ

(以下八〇頁につづく)

- 1' 2' 3' 4' …… (1 : 4)迄と同じことを繰返して圓の外方へ行きて終り正面となる
- 5 …… 左方へ駈足四歩 (此の時左右に開きたる兩手を前へまわしつゝ)
- 6 …… 拍手しつゝ右廻りして反對の方を向く
- 7 …… 右方へ (圓の中心に向つて右) 駈足四歩
- 8 …… 拍手しつゝ右廻りして反對の方を向く
- 9 10 11 12 …… (5 6 7 8)と同じく繰返す
- 13 14 15 16 …… 第一の終りと同じことをなす

昭和四年十月六日作

(六五頁よりつゞく)

堀 それ／＼の觀念になるとあやしいからね。牛と馬の顔が違ふ事は知つてゐても具體的に現はすと大變むづかしい。

倉橋 それが面白いことには斯うやつてゐるうちは分らぬが製作をやつてゐるうちに表現活動を媒として觀念を矯正してゆく。

堀 現はすために觀念が明瞭になる誰れの觀念も

案外不明なものだ。牛にまゆげがあるか知つてゐますか。いざどうか描かうとなると實際に見てみなくつちや分らなくなる。

倉橋 なる程ね、本當はどうなんだい？

新庄 あるような氣がしますわ。二三本。

堀 さうなんだ。——今日はもうこの邊でしまひにしよう。